

河川との関わり

河原の草地、河畔林の林縁部、狭窄部の斜面林に生息しています。なかでも、ミヤマシジミは河原のコマツナギ（マメ科植物）が生育する低茎草地を主な生息場所としています。

「平成10年度河川水辺の国勢調査 陸上昆虫類等」では、58種のチョウの仲間が確認されました。

天竜川で確認したチョウの仲間は大きく分けて、草地などの明るく開放された場所に生息する種と、天竜川の狭窄部に発達する斜面林や、河川敷などの樹林に生息する種があります。

河川敷や堤防の法面などの明るい草地では、イチモンジセセリ、モンキチョウ、ベニシジミ、ヒメアカタテハなどが見られます。河川敷の樹林では、コムラサキやヒオドシチョウなどが見られ、斜面林ではオオムラサキやクロヒカゲなどが見られます。樹林と草地の境界部や疎林などでは、イチモンジチョウやコムスジなどが見られます。

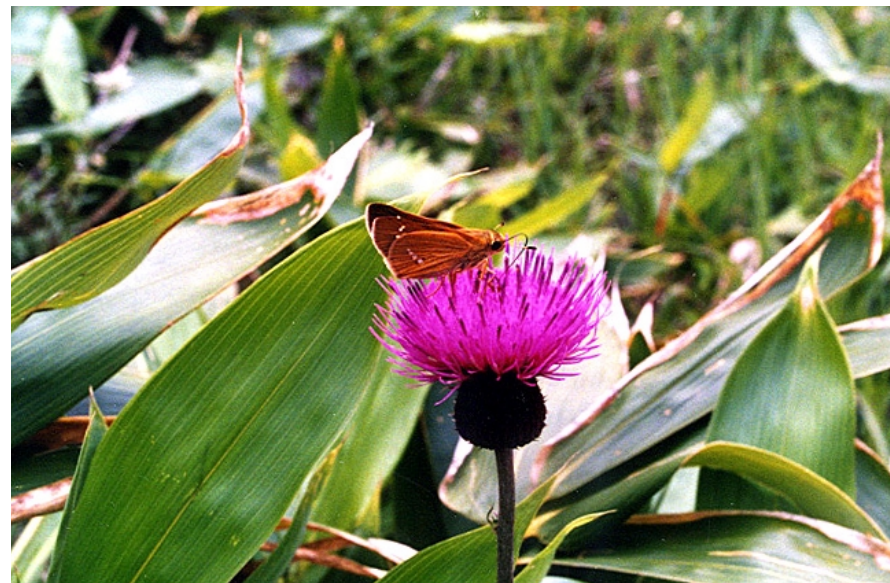
チョウの仲間には、モンキチョウやベニシジミのように春から秋まで見られる種もありますが、ツマキチョウのように春だけに見られる種や、オオムラサキのように初夏から夏に見られる種などがあります。また、チャバネセセリやウラナシジミのように秋になってよく見られる種もあり、南の暖かい地方から移動して来て、夏から秋に繁殖して増えることが知られています。

多くのチョウは花の蜜を吸いに来ますが、コムラサキやオオムラサキなどのように、クヌギやヤナギなどの樹液を吸いに来る種もいます。また、コチャバネセセリ、カラスアゲハ、クロアゲハ、ルリシジミ、スミナガシなどは、時々河原などの水がしみ出ているところに吸水に来ます。このように吸水に来るのは、不思議なことにほとんどがオスです。

チョウは植物との結びつきが特に強いグループのひとつで、チョウがよく見られる場所の付近を探すと、幼虫が食べる食草（食樹）が見つかることが多く、卵や幼虫を観察することもできます。例をいくつか挙げると、スジグロシロチョウやモンシロチョウなどはタネツケバナやイヌガラシなどのアブラナ科の植物の付近に、コムラサキやヒオドシチョウなどはヤナギ類の付近に、ルリシジミやツバメシジミはハギなどのマメ科植物の付近に見られます。その中でも特徴的なのがミヤマシジミで、河原に多く生育するコマツナギを食草としています。このチョウは全国的にも、河川敷や堤防などで見られることが多い種です。

このように天竜川で確認したチョウの多くは、河川敷に生育している植物を利用して生息しています。

天竜川で確認したチョウの多くは、長野県内では比較的広い範囲に生息している種ですが、長野県南部の天竜川沿いでは、アオスジアゲハ、ツマグロヒヨウモン、クロノマチョウのように南の暖かい地方に生息する種も見られます。



イチモンジセセリ（チョウ目セセリチョウ科）前翅長：15～21mm 生息場所：草地 撮影：SERP



チャバネセセリ（チョウ目セセリチョウ科）前翅長：13～21mm 生息場所：草地 撮影：SERP



オオチャバネセセリ (チョウ目セセリチョウ科) 前翅長：17 ~ 23mm 生息場所：草地 撮影：SERP



ウスバシロチョウ (チョウ目アゲハチョウ科) 前翅長：26 ~ 38mm 生息場所：草地 撮影：SERP



ヒメキマダラセセリ (チョウ目セセリチョウ科) 前翅長：13 ~ 20mm 生息場所：林縁部の草地 撮影：SERP



ナミアゲハ (チョウ目アゲハチョウ科) 前翅長：35 ~ 60mm 生息場所：草地 撮影：SERP



キアゲハ (チョウ目アゲハチョウ科) 前翅長：36～70mm 生息場所：草地 撮影：SERP



モンシロチョウ (チョウ目シロチョウ科) 前翅長：20～30mm 生息場所：草地 撮影：SERP



モンキチョウ (チョウ目シロチョウ科) 前翅長：20～30mm 生息場所：草地 撮影：各務寿



ヤマトシジミ (チョウ目シジミチョウ科) 前翅長：9～16mm 生息場所：草地 撮影：SERP



ルリシジミ (チョウ目シジミチョウ科) 前翅長：12～19mm 生息場所：林縁部 撮影：星野 利雄



ミヤマシジミ (チョウ目シジミチョウ科) 前翅長：9～16mm 生息場所：低茎草地 撮影：各務 寿



ベニシジミ (チョウ目シジミチョウ科) 前翅長：13～19mm 生息場所：草地 撮影：各務 寿



トラフシジミ (チョウ目シジミチョウ科) 前翅長：12～20mm 生息場所：林縁部 撮影：各務 寿



ツバメシジミ (チョウ目シジミチョウ科) 前翅長：9 ~ 19mm 生息場所：草地 撮影：各務 寿



クロツバメシジミ (チョウ目シジミチョウ科) 前翅長：8 ~ 15mm 生息場所：岩礫地・石垣 撮影：各務 寿



アサギマダラ (チョウ目マダラチョウ科) 前翅長：43 ~ 65mm 生息場所：林縁部 撮影：SERP



ミドリヒョウモン (チョウ目タテハチョウ科) 前翅長：29 ~ 39mm 生息場所：林縁部 撮影：SERP



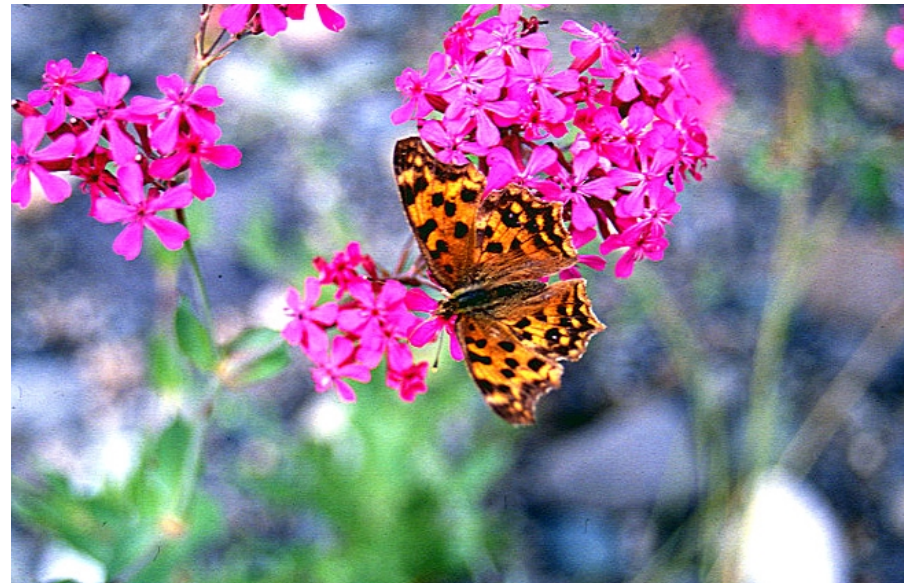
ウラギンヒョウモン (チョウ目タテハチョウ科) 前翅長: 27 ~ 36mm 生息場所: 草地 撮影: 各務 寿



アサマイチモンジ (チョウ目タテハチョウ科) 前翅長: 23 ~ 34mm 生息場所: 林縁部 撮影: 各務 寿



イチモンジチョウ (チョウ目タテハチョウ科) 前翅長: 22 ~ 32mm 生息場所: 林縁部 撮影: 各務 寿



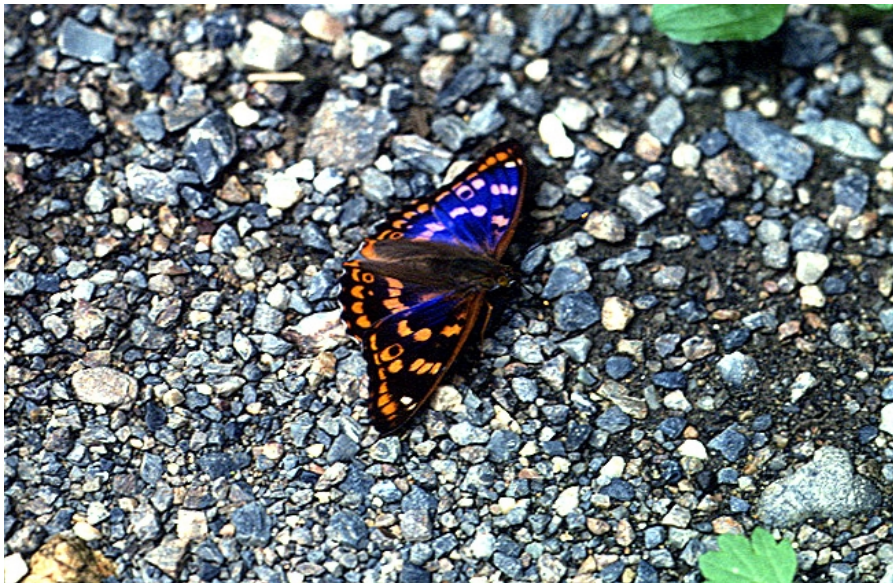
キタテハ (チョウ目タテハチョウ科) 前翅長: 22 ~ 34mm 生息場所: 草地 撮影: SERP



ヒメアカタテハ (チョウ目タテハチョウ科) 前翅長：26 ~ 34mm 生息場所：草地 撮影：SERP



オオムラサキ (チョウ目タテハチョウ科) 前翅長：43 ~ 68mm 生息場所：斜面林 撮影：SERP



コムラサキ (チョウ目タテハチョウ科) 前翅長：25 ~ 43mm 生息場所：樹林 撮影：SERP



ゴマダラチョウ (チョウ目タテハチョウ科) 前翅長：35 ~ 50mm 生息場所：斜面林 撮影：星野 利雄

チョウと食草

河川水辺の国勢調査陸上昆虫類等を行って、天竜川上流では58種のチョウが確認されました。同植物調査で確認された植物の中には、それらチョウ類の食草になる種類がたくさん含まれています。それは、これらのチョウが川の外から飛来したのではなく、河川敷、堤防、斜面林等で世代を繰り返している証です。



マメ科植物に産み付けられたモンキチョウの卵 撮影：細江 素



ウスバシロチョウの幼虫とムラサキケマン 撮影：細江 素



テングチョウ（チョウ目テングチョウ科）前翅長：19～29mm 生息場所：斜面林 撮影：SERP



クロヒカゲ（チョウ目ジャノメチョウ科）前翅長：24～34mm 生息場所：斜面林 撮影：各務 寿

チョウの種類	食草（幼虫が食べる植物）
ダイミョウセセリ	ヤマノイモ・タチドコロ
ホソバセセリ	ススキ
ヒメキマダラセセリ・ジャノメチョウ・ヒメウラナミジャノメ	イネ科各種・カヤツリグサ科各種
イチモンジセセリ・ヒメジャノメ	イネ科各種・タケ科各種・カヤツリグサ科各種
チャバネセセリ	イネ科各種
オオチャバネセセリ・コチャバネセセリ・クロヒカゲ・ヒカゲチョウ・サトキマダラヒカゲ	タケ科各種
キマダラセセリ	イネ科各種・タケ科各種
カラスアゲハ	コクサギ・サンショウ・イヌザンショウ
キアゲハ	セリ科各種
オナガアゲハ	コクサギ
クロアゲハ・ナミアゲハ	ミカン科各種
ウスバシロチョウ	ムラサキケマン
ツマキチョウ	ハタザオ・ヤマハタザオ・タネツクバナ・ジャニンジン・イヌガラシ・スカシタゴボウ
モンキチョウ・コムシジ	マメ科各種
キチョウ	ネムノキ・メドハギ
スジグロシロチョウ	野生アブラナ科各種
モンシロチョウ	イヌガラシ・スカシタゴボウ・マメグンバイナズナ
ルリシジミ	ミズキ・クマノミズキ・タラノキ・マメ科各種・イタドリ・コナラ・クヌギ・ミツバウツギ・ネナシカズラ・シソ
ツバメシジミ	コマツナギ・シロツメクサ・ナンテンハギ・ヤマハギ
ウラナミシジミ	マルバハギ・ヤマハギ・クズ
ミヤマシジミ	コマツナギ
ベニシジミ	ギシギシ属各種
トラフシジミ	フジ・クズ・ウツギ・ミズキ
クロツバメシジミ	ツメレンゲ
ヤマトシジミ	カタバミ
ウラギンシジミ	フジ・クズ
テングチョウ・ゴマダラチョウ・オオムラサキ	エノキ・エゾエノキ
コムラサキ	ヤナギ科各種
サカハチチョウ	クサコアカソ
ミドリヒョウモン・ツマグロヒョウモン・メスグロヒョウモン・ウラギンヒョウモン・クモガタヒョウモン	スミレ科各種
ヒメアカタテハ	ハハコグサ・ヨモギ
ルリタテハ	サルトリイバラ・シオデ・ヤマカシユウ
イチモンジチョウ	スイカズラ・キンギンボク・ヤブウツギ・ニシキウツギ
アサマイチモンジ	スイカズラ
オオミスジ	エドヒガン
ヒオドシチョウ	エノキ・ヤナギ科各種
キタテハ	カナムグラ
アカタテハ	クサマオ
クロコノマチョウ	ススキ・ヨシ・ツルヨシ
アオスジアゲハ・ミヤマカラスアゲハ・スミナガシ・ホシミスジ	植物調査で食草は確認されませんでした。